高畠町立小学校の再編に向けた意見交換会　記録

１　開催概要

日　時	令和８年１０月７日（水）午後７時～午後８時４０分
会　場	和田地区公民館
対象・参加者	町民
参加人数	**参加者３２名**（事前申込２３名、当日申込１２名、欠席３名） 教育長、事務局４名
主催・事務局	高畠町教育委員会　教育総務課

２　意見交換の記録

（１）望ましい教育環境

意見交換の点：これからの子どもたちに、どのような学校生活を送ってほしいか。

（２）大切にしてほしいこと

意見交換の視点：今の学校の良さでこれからも残してほしいこと、再編を考える上で心配なこと。

意見１	小中一貫教育の縦割り（１～９年生）が、子ども達が仲良くなるための基盤となるのではないか。
意見２	子ども達にのびのび健康に育って欲しい。学校の規模としても１クラス２０～３０人、クラス替えができた方が良いのではないかと思う。
意見３	地元に小学校がなくなれば、子どもと地域の関係性が薄れる。
意見４	子ども達皆が楽しく通えれば良いと思う。いじめや不登校は必ずあると思う。そういった子ども達の逃げ道があれば良いと思う。
意見５	和田地区の子として、地域の行事に参加し、統合しても地域とのコミュニケーションを図る機会が必要だと思う。今行っている「わんぱく広場」は、統合後継続していくのは困難ではないかとも感じる。和田地区を体験しながら元気に楽しく過ごして欲しい。和田地区の子どもの人数の推移を見ると、いずれ全校で４０～５０人となる。想像がつかないスピードで少子化が進んでいる。４０～５０人となった場合の学校の様子について想像がつかない。
意見６	和田地区の良さについて考えると、全学年、全部の子どもが農業体験をしていること

	ではないかと思う。小学校のグランドでのスポーツレクリエーション大会もある。小学校は地域コミュニティの核となっているので、残してほしいと思う。

（３）通学・施設・放課後

意見交換の視点：再編を考える上で必要な配慮（通学、学校施設、放課後児童クラブ等）。

（４）地域とのつながり

意見交換の視点：学校と家庭、地域とのつながりを、これからどのように築くとよいか。

意見１	近くの子どもと一緒に登校している。一人で登校している子どもの様子を見ると、再編も致し方ないのかと思う。学校が終わった放課後に地域と子どもが関わる機会があれば良いと思う。
意見２	今年度クマが出た時に、見守り隊で２週間程度登校を見守った。スクールバスの取扱が、不平等だなぁと思った。統合となれば、そういった不平等感もなくなり、賛成である。
意見３	現在、学童は各地域にある。小学校を統合し、学校の中や近くにあれば子ども達の安全のために望ましいと思っていたが、祖父母の送迎や迎えに行く交通手段を考えれば、スクールバスで送迎いただき、各地域にあることも良いのではないかと思った。各施設を運営するにはお金がかかる。仕事をしながら子育てをするには、大変なことも多い。高畠町が不便な町といった印象になれば、若者も住まなくなるのではないかと思う。
意見４	統合を前提に話をした。統合されるとなれば、スクールバスでの登下校となる。学童についても利用する子、利用しない子がいる。登校以上にきめ細やかな下校の対応が必要となる。
意見５	小学校を拠点に様々な活動を行っている面もある。統合されれば、学年ごとに各地区を順番に回って、各地区の良さを体験することも良いのではないか。和田地区の子どもも他の地区を体験できる。
意見６	小中一貫校の視点の中で検討してみた。既存の施設を活用することも検討すべきであろうと思う。中学校の空き教室の活用も視野に入れて欲しい。小学校しか使わない施設もあるのでうまく組み合わせて施設活用を行って欲しい。スクールバスの停留所で、地域や保護者の見守りの体制を構築して欲しい。
意見７	小学校から各地区公民館への直通のバスの路線を作り、社会教育を中心に、子どもと地域の連携を図ってはどうか。学校が地域からなくなれば、公民館がより大きな地域の核となる必要がある。

（５）その他

意見交換の視点：上記以外の意見、質問、要望等。

意見１	特になし

３　主な質問と事務局回答

質問・確認事項	事務局からの回答・説明
特になし	

４　備考

なし